

## 作況調査における収量調査の実施

丹後地域で多く栽培されているコシヒカリは、変化する気象の影響で毎年の作況が左右されます。

そこで、当研究所では毎年5月10日と5月25日に田植えし、その年のコシヒカリの生育状況や収量などを過去のデータと比較し、気象条件と照らし合わせて作況の良し悪しの原因を調べています。9月には、適期に刈り取った稲の穂数、粃数、千粒重、登熟歩合を調査しました。

今後は、生育調査のデータとともに、品質や食味のデータを合わせて、今年の作況について考察し、生産者に来年作の生産安定の参考となるよう情報提供します。



収穫・乾燥後、脱穀して収量調査を実施